

新しい農業委員が決まりました

農業委員会会長に坂本 稔さん



町の新しい農業委員14人が決まりました。任期は、平成29年7月20日から平成32年7月19日までの3年間で、今回から公選制が廃止され、農業委員は町長の任命により選任されることとなり、3月に推薦・募集により応募がありました14人が6月の定例町議会にて同意され、7月20日に町長の任命を受けました。同日に行われた農業委員会総会で会長、会長職務代理者などの役職が決まり、今後農地利用の最適化、遊休農地の発生防止などの活躍が期待されます。

1団体1個人が採択対象事業に決定しました

町民税1%を活用した平成29年度の「地域活性化チャレンジ事業」の対象事業が決まりました。

下表の1団体1個人で、7月4日に菊池町長が各団体の代表者などに採択決定通知書を手渡しました。



事業名	申請団体 (代表者)	事業内容
個が集まれば、新たな価値は生まれる。我が町の地域特産品ブランディング化事業	くんねっぶ観光物産PR実行委員会 (代表 谷口武彦)	農工商連携による実行委員会を立ち上げ、都市圏での物産展に出展し、PR事業を行う。また、SNS (会員制交流サイト) の新規立ち上げを行い、商品情報を広く町外へ発信する。
訓子府町特産品開発事業	佐藤 茂樹	規格外農産物を活用した商品開発・加工を行い、町内飲食店や小売店における販売やインターネットを利用した町外への販売を行う。

地域活性化チャレンジ事業

一般社団法人北見地区トラック協会と協定を締結

「緊急時における輸送業務に関する協定」の締結式が7月18日に行われ、一般社団法人北見地区トラック協会と訓子府町の間で協定が結ばれました。

この協定は、地震や風水害などの災害が発生した場合の応急対策として、救援・救助のための資機材や食料・生活用品などの救援物資を緊急輸送することが必要なため、管内の運送事業者で構成される北見地区トラック協会との間で、緊急時における輸送業務に関する協定を締結し、災害時における物資輸送手段の確保を図るものです。



平成28年度農業者年金事業表彰を受賞

訓子府町農業委員会が、農業者年金の加入推進活動に積極的に取り組んだ農業者年金事業表彰受託機関として、各部門で平成28年度独立行政法人農業者年金基金理事長賞を受賞しました。

受賞した部門は、新規加入者数部門 (新規加入者数27人) 全国第5位、青年農業者層新規加入者数部門 (新規加入者17人) 全国第8位、女性新規加入者部門 (新規加入者18人) 全国第1位です。



9月1日(金) 午前10時

シェイクアウト訓練を実施

町では、9月1日(金)の「防災の日」に約1分間、消防サイレンを合図に地震を想定した「シェイクアウト訓練 (安全行動訓練)」を町内一斉に行います。

サイレンが聞こえたら、それぞれの家庭や職場で机の下に隠れるなどの安全行動訓練を実施し、防災対策の確認をしましょう。

また、防災用品などの持ち出し準備の点検なども行いましょう。

安全行動の①-②-③

